

## 橋りょう建設工事現場へ安全パトロールを実施しました

岩手労働局（局長：久古谷 敏行）では、沿岸部の復旧・復興工事現場における労働災害防止の取組を促進させるため、8月23日（火）、岩手労働局長及び岩手地方労働審議会労働災害防止部会（部会長：大塚尚寛 岩手大学理工学部教授）の委員6名による釜石市の復旧・復興工事現場（工事名：国道45号吉浜釜石道路工事）に対する安全パトロールを実施しました [（報道発表資料）](#)。

岩手労働局管内の労働災害発生件数は、平成28年7月までの死傷者数（7月末現在の速報値）は660人で、前年同期比で10人（1.5%）の減少、死亡者数は14人となっており、前年同期比で4人増加となっています [（報道発表資料）](#)。

平成28年は12次労働災害防止計画の4年目に当たり、計画の目標達成に向け、労働災害防止対策に重点的に取り組んでいるところですが、更なる労働災害発生防止の取組の一環として、沿岸地域の大規模の橋梁工事をパトロールすることになりました。

パトロール当日の午前中には岩手労働政策審議会労働災害部会が開催され、安全衛生行政の推進状況を審議しましたが、議事の進行の中で、岩手労働局長が建設労働者の過重労働対策を説明しました。



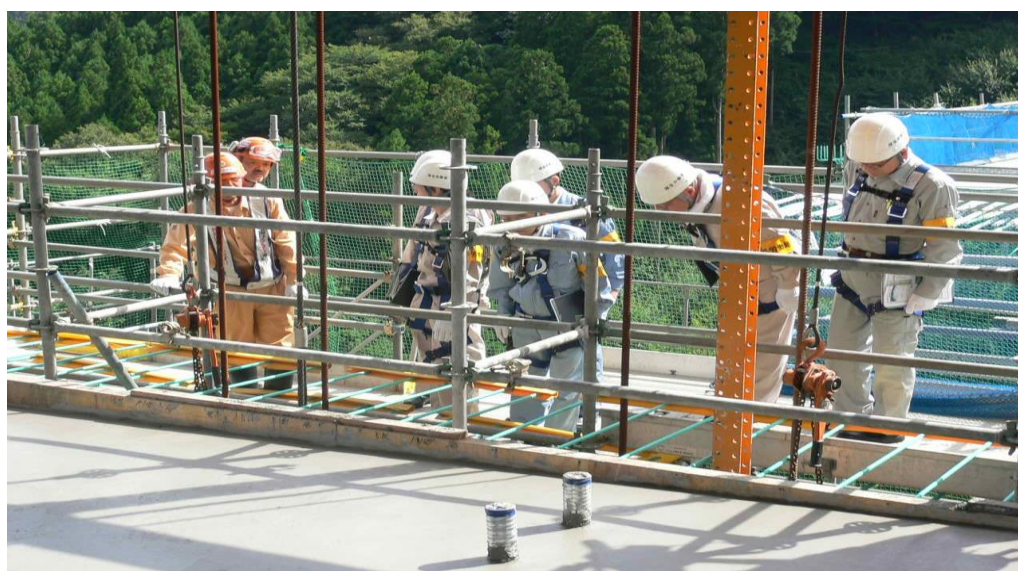
岩手労働政策審議会労働災害部会開会冒頭で挨拶を行う久古谷労働局長

午後からは、パトロール開始です。事前に現場事務所で施工業者から工事概要等の説明を受け、現場まで更に異動した後、パトロールを開始しました。



橋梁に昇る前でも施工業者から詳細な説明を受ける様子

国道45号吉浜釜石道路工事の唐丹第2高架橋の進捗状況を確認するとともに、実際に足場・開口部等に対する手すり・安全ネット等の設置等の転落・墜落防止措置等が適切になされているかどうか、安全管理体制に不備がないかどうか等を確認しました。また、併せて、唐丹第1高架橋の進捗状況の確認も行いました。



施工業者から墜落防止措置（安全ネット等）の説明を受ける様子

パトロール終了後、久古谷労働局長は、墜落・転落災害防止措置や点検項目の見える化が適切になされていると講評するとともに、熱中症予防対策についても注意喚起を行いました（[足場からの墜落防止の強化](#)、[熱中症対策](#)）。